



MS290-18001 全長調整式サスペンションセット

取付・取扱要領書

この度は86用TRD全長調整式サスペンションセットをお買い上げ頂き、有難うございます。
本書には上記製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け取扱いを実施して下さい。なお本書は必ずお客様にお渡してください。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■品番・適合車種

品番	適合	型式	年式	備考
MS290-18001	86	ZN6	'12.04~	

- ・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。<<http://www.trdparts.jp>>
- ・本商品は一般公道での走行においては法令順守の為、出荷時寸法を厳守してご使用下さい。

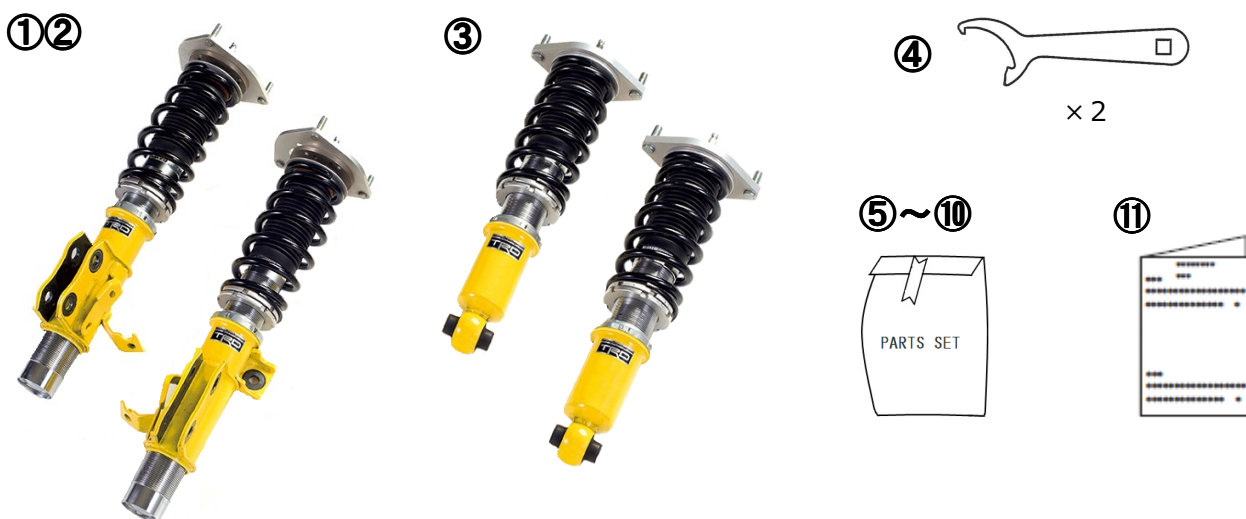
■構成部品

	部品名	数量	備考
①	FRサスペンションASSY RH	1	アッパースポルト・ロックナット・ダストカバー・パンプラバASSY品
②	FRサスペンションASSY LH	1	アッパースポルト・ロックナット・ダストカバー・パンプラバASSY品
③	RRサスペンションASSY	2	アッパースポルト・ロックナット・ダストカバー・パンプラバASSY品
④	SST(フックレンチ)	2	アジャスター用×1 スプリングロアシート用×1
⑤	ナットA	6	M8×P1.25 Fr アッパースポルト×ボディ(再使用不可部品・純正品)
⑥	ナットB	4	M14×P1.5 Fr ナックル×アブソーバ(再使用不可部品・純正品)
⑦	ナットC	2	M12×P1.25 Fr ステアリング×アブソーバ(再使用不可部品・純正品)
⑧	ナットD	6	M12×P1.25 Rr ロアアーム×メンバースポルト×アブソーバナックル(再使用不可部品・純正品)
⑨	ナットE	4	M10×P1.25 Rr アッパースポルト×ボディ(再使用不可部品・86純正品)
⑩	ナットF	2	M10×P1.25 Rr ロアアーム×ステアリング(再使用不可部品・86純正品)
⑪	取付・取扱要領書(本書)	1	





(注意事項)

構成品の純正品部品(ナットA~F)は、再使用不可部品になりますので、補給の際は修理書を参照して、メーカー指定の純正品部品を交換・取付けてください。





■構成部品図









■ 取付け、取扱い上のご注意

 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと人が死亡したり、重傷を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと人が傷害を負ったり、物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
	してはいけない行為
	必ず行っていただくこと





警告

-  本商品を適合車種以外には使用しないでください。破損や故障により重大事故を招く場合があります。
-  エンジンルーム、マフラーの近くに作業が及ぶ場合、冷めている事を確認して作業を行ってください。熱いまま作業を行うと火傷や思わぬケガの原因になる場合があります。
-  車両より取外したボルト・ナット類を再使用する場合は、サビや劣化を点検して不具合がある場合は必ず新品部品と交換してください。
-  取付けの際は、該当車両の修理書に従い、規定トルクにてボルト・ナット類を確実に締付けてください。締付け不足があると徐々に緩みが発生し、脱落等の重大な事故の原因となります。

注意

-  本商品の取付け、交換作業は必ずトヨタの販売店もしくは自動車整備工場で行ってください。
-  本商品の取付け、交換は該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
-  本商品を工具でつかんだり、落下させるような乱暴な扱いはしないでください。キズや衝撃により破損や事故の原因となります。
-  部品の取付け、交換の締付け作業時にインパクトレンチは絶対に使用しないでください。破損や事故の原因となります。
-  取付け、修理、交換の際は、トルクレンチを使用して規定トルクを厳守してください。破損や事故の原因となりますので、十分に注意して作業を行ってください。
-  装着後は、該当車両の修理書に従いヘッドライト光軸等、各種の再設定、調整、確認を実施してください。

■ 安全にお使い頂くために

-  購入後の改造は重大な事故や故障を招く危険性がありますので、絶対に行わないでください。
-  本商品は舗装路での走行を想定しています。悪路などを走行する際は安全な速度で走行してください。
-  本商品を装着後に衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付け部位や本体に変形・破損・故障が生じる場合がありますので直ちに使用を中止してトヨタの販売店や自動車整備工場にて点検を受けてください。
-  走行中に異常な振動や異音を感じたら直ちに安全な場所に停車して、トヨタの販売店や自動車整備工場にご連絡ください。そのまま走行を続けると重大な事故や破損の原因となります。

■本商品は1年・20,000Kmの保証を実施いたします。(1年または20,000Km 走行時点のいずれか早い方まで)
 ※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

但し、レース等の(走行を含む)モータースポーツ走行に参加された時点、及び車高調整を実施するためにケースロックナット等を解放した(緩めた)時点で、すべての保証対象外となります、ご承知おきください。

走行や取扱いにより発生した、外的要因が原因の製品不具合や、それにより車両本体等への損傷が発生した場合のクレームには応じかねます。

■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図	1
2. 取付け・取扱いのご注意	2
3. 目次、取付けに必要な工具	3
4. 取付け要領	3
5. 車両装着後の確認・点検	3
6. 各部調整方法	4
7. 出荷時基準寸法図・SST使用時のトルクレンチ計算式	5
8. 組付けトルク一覧表・再使用不可部品一覧	6

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具
- ・ トルクレンチ

■ サスペンションASSY取付け要領

1. FRサスペンションの取付け

- 1) 該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、車両よりフロント純正ストラットASSYを取外す。
- 2) 該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い純正ストラットASSYと同様の要領で、車両にFRサスペンションASSY①②を取付ける。

2. RRサスペンションの取付け

- 1) 該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、車両よりリヤ純正ストラットASSYを取外す。
- 2) 該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い純正ストラットASSYと同様の要領で、車両にFRサスペンションASSY③を取付ける。

アドバイス

サスペンション廻りの本締めは、車両接地状態(1G)にて車高を安定させた後に行ってください。
サスペンション各部の車両への取付け締付トルクは、純正ストラットと同等になります。
該当車両の修理書に従い、確実に締付けを行ってください。

3. 車両装着後の確認

- 1) 各部に干渉が無いこと、規定トルクでの締め付けが行われていることを確認する。
- 2) アブソーバトップの減衰力調整ダイヤルを時計方向に停止するまで廻し3回転(24ノッチ)戻した位置にする。(出荷時基準位置)

アドバイス

減衰力調整ダイヤルは基準位置に調整し出荷されていますが、組付け時などにずれてしまう可能性があります。組付け完了後、再度確認を行ってください。

- 3) 組付け後、光軸調整・アライメントの確認・調整等、各部の調整・再設定を行う。
- 4) 作業完了後、5km程度の試走・慣らし運転を行い、異音やハンドルの流れ等が無いことを確認する。
- 5) 装着後は、定期的に(定期点検やシーズンチェック毎)各部に緩みなどが無いか確認してください。



レース等の(走行会含む)モータースポーツ走行に参加された時点、及び車高調整を実施するためにシート・ケースロックナット等を解放した(緩めた)時点で、すべての保証の対象外となります。

■ 減衰力調整ダイヤル

- ・調整ダイヤル：時計回り→「ハード」、反時計回り→「ソフト」
- ・調整ダイヤルは正・反転ともに回しすぎに注意してください。調整ダイヤルの破損につながります。
- ・走行直後の調整ダイヤル付近は熱くなっている可能性があります。ヤケドに注意してください。
- ・ショックアブソーバーの温度上昇により、調整ダイヤルの操作が硬くなる場合があります。
- ・リヤの調整には、内装部品の脱着が必要となります。



■ キャンバー角調整方法

1. タイヤキャンバー角の調整

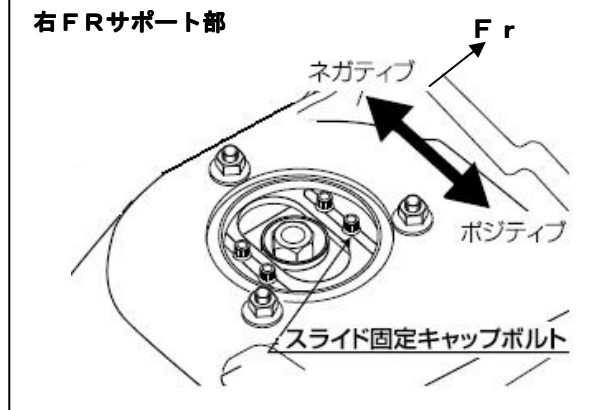
- 1) 図に示すアップアマウントのスライド固定キャップボルトをゆるめる。
- 2) センターケースをスライドさせてキャンバー角を調整する。



アドバイス

車体内側にスライドさせるとネガティブキャンバーに、車体外側にスライドさせるとポジティブキャンバーに調整出来ます。

右FRサポート部



- 3) キャンバーゲージ等の測定器を使い、左右のキャンバー角を規定値内に合わせ、スライド固定キャップボルトを仮締めする。
次にトーゲージにてトーを測定し、規定値の範囲に合わせる。



アドバイス

トーの調整は該当車両の修理書に従い、作業を行ってください。

- 4) 再度キャンバー測定を行い左右のキャンバー角が規定値内にある事を確認しスライド固定キャップボルト4本を $11.76 \sim 13.72 \text{ N}\cdot\text{m}$ (1.2~1.4Kgf-m) で締付ける。
- 5) ホイールアライメントの最終トータル確認とし、サイドスリップテスターにて数値が $0 \pm 5 \text{ mm}$ 以内である事を確認する。(推奨 $\pm 3 \text{ mm}$)

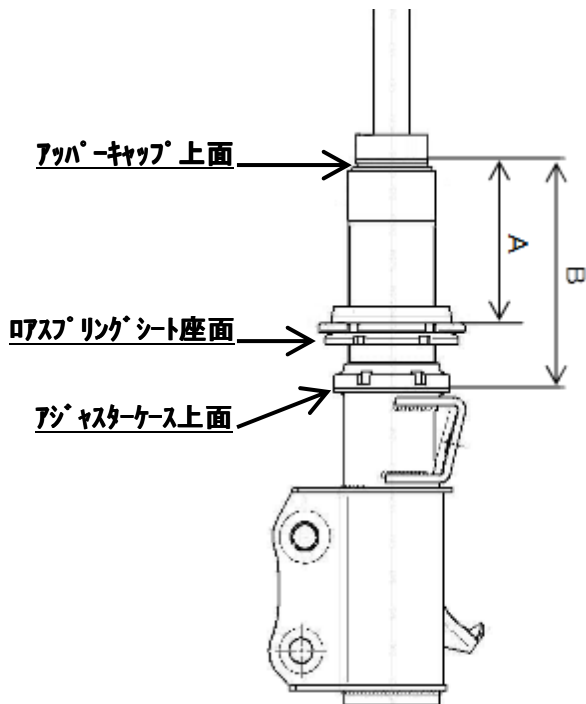
⚠ 注意

- ・プレートスライド部の打刻目盛は目安になります。調整は必ず測定機器を使い、左右のキャンバー角が同一になるように、正確に調整してください。
- ・キャンバー角の付けすぎはタイヤの偏磨耗及び走行性能低下の原因になります。調整後は必ずサイドスリップテスターにて確認を行ってください。
- ・キャンバー調整の際は必ずスプリングを抜き、全ストロークさせながらハンドルをロックトウロックで操舵しながら各部の干渉及び、ホース・ハーネスに突っ張りが無い事を確認してください。

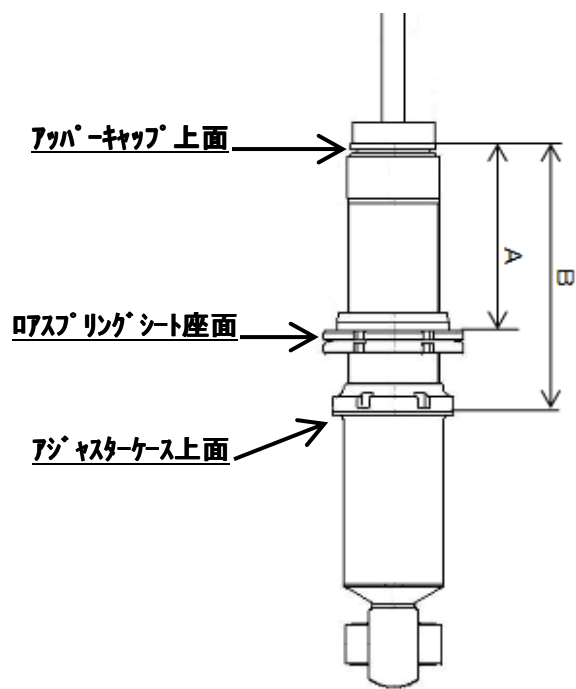
- 6) 調整～ホイールアライメント確認の作業終了後、5km程度の通常走行を実施し、異音、流れ、振れ等の確認を行った後、作業箇所を規定トルクで締付け確認を実施する。

出荷時基準寸法図（参考）

FR ショックアブソーバー



RR ショックアブソーバー



	フロントスプリング	リヤスプリング
品番	48131-ZN650	48231-ZN650
ばね定数	28.0 N/mm	43.7 N/mm
A寸法	67.0 mm	81.5 mm
B寸法	109 mm	140 mm

* A寸法=アッパーキャップ上面～ロアスプリングシート座面

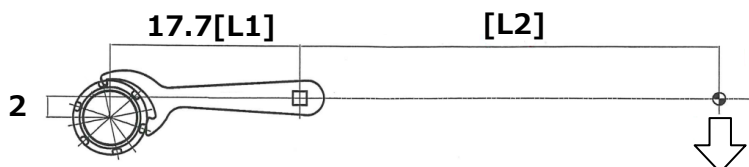
* B寸法=アッパーキャップ上面～アジャスターケース上面

■ SST使用時のトルクレンチ計算式

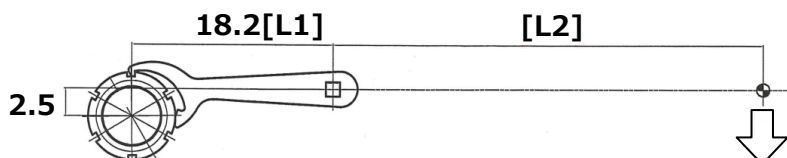
$$T' = T \times L2 / [L1 + L2]$$

T'	トルクレンチの読み [N/m{kgf·cm}]	L1	SSTの長さ [cm]
T	規定締付トルク [N/m{kgf·cm}]	L2	トルクレンチの長さ [cm]

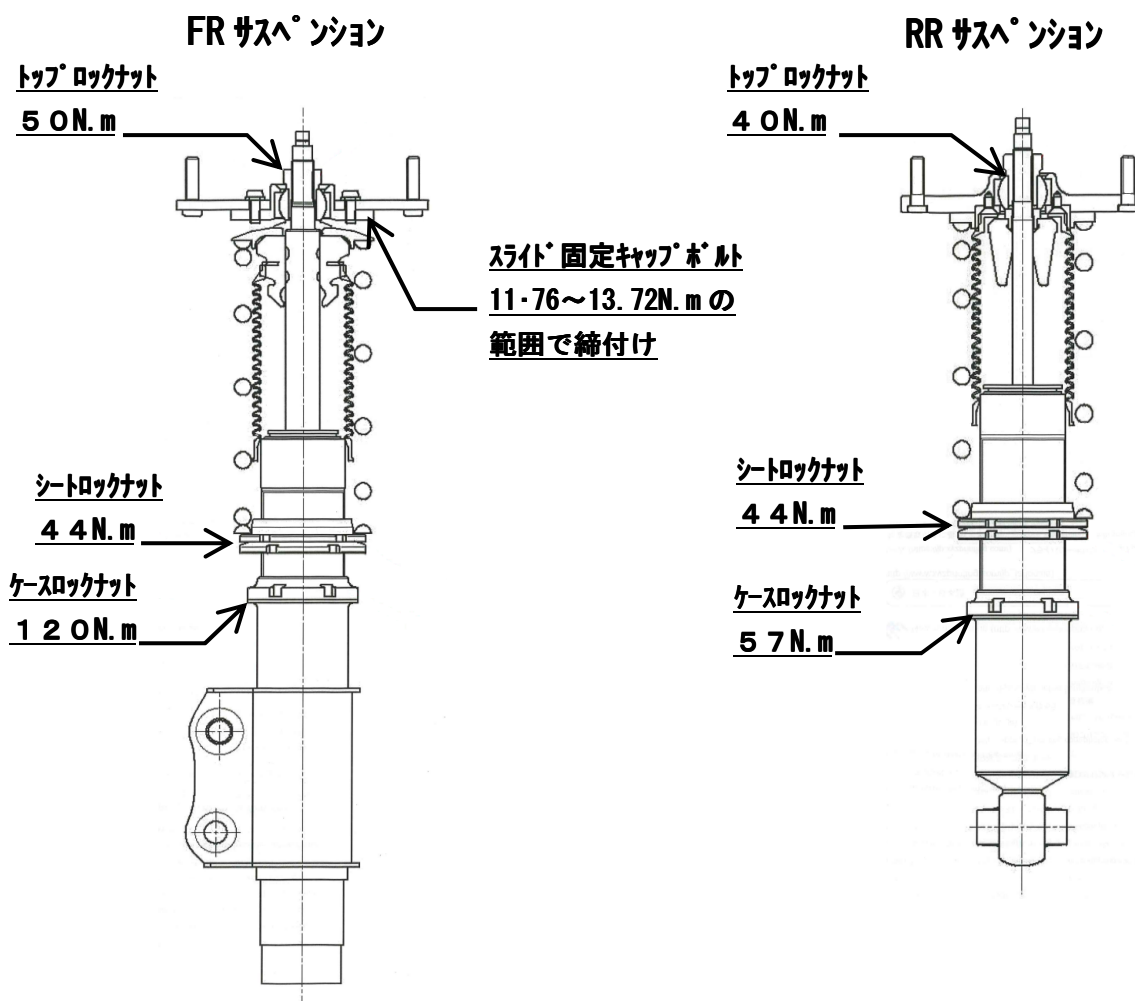
アジャスターロック用 SST



スプリングシートロック用 SST



組付けトルク一覧（参考）



車両への組付け規定トルクは、純正部品と同様になりますので、該当車両の修理書に従い締付けてください。

【再使用不可部品一覧表】

	部 位	品 名	個数	備考
フ ロ ン ト	1	アッパーマウント×ボディー	ナット A M8X1.25	6 構成品⑤（純正品）
	2	ナックル×アブソーバー	ナット B M14X1.5	4 構成品⑥（純正品）
	3	スタビリンク×アブソーバー	ナット C M12X1.25	2 構成品⑦（純正品）
	4	アッパーマウント×ピストンロッド	トップ ロックナット 90179-TC045	2 専用品
リ ヤ	5	ロアーアーム×メンバー	ナット D M12X1.25	2 構成品⑧（純正品）
	6	ロアーアーム×アブソーバー	ナット D M12X1.25	2 構成品⑧（純正品）
	7	ロアーアーム×ナックル	ナット D M12X1.25	2 構成品⑧（純正品）
	8	アッパーマウント×ボディー	ナット E M10X1.25	4 構成品⑨（純正品）
	9	ロアーアーム×スタビリンク	ナット F M10X1.25	2 構成品⑩（純正品）
	10	アッパーマウント×ピストンロッド	トップ ロックナット 90170-A0193	2 専用品

※純正品の再使用不可部品の補給は、該当車両の修理書を参照のうえ確認してください。